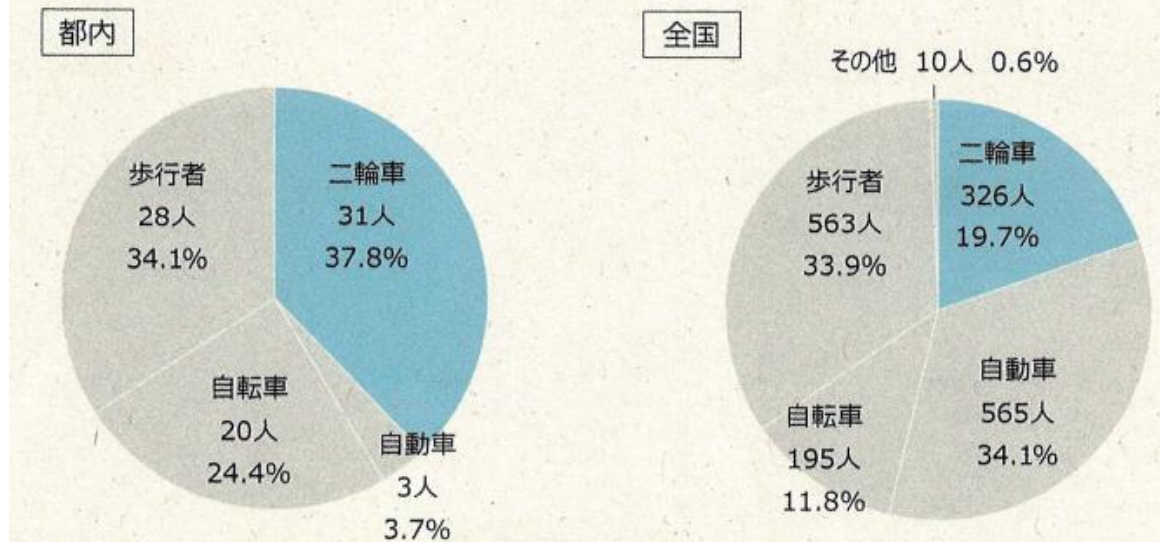


二輪車交通事故防止連絡会議（令和5年9月27日）

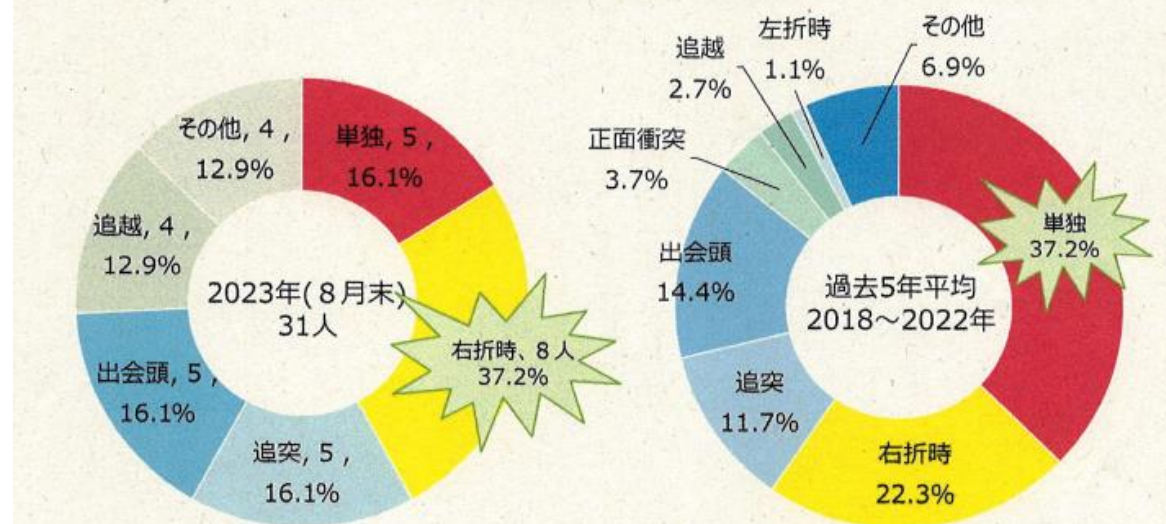
- 主催：警視庁（警視庁本部庁舎会議室 1400～1600）
- 参加者：本田技研(株)、東京オートバイ協同組合他14企業及び団体
- 議 題
 - 1 二輪車の人身事故発生状況（警視庁）
 - ・ **二輪車の死亡事故状況**
 - ・ **ヘルメット及び胸部プロテクターの着用状況調査**
 - ・ 二輪車利用者に対する交通安全啓発
 - 〔 デリバリー大会
 - 〔 デリバリー業界と連携した交通安全啓発活動
 - 〔 その他
 - 2 二輪車産業政策ロードマップ2023 安全領域の取り組み（jama…日本自動車工業会）
 - 〔 **ヘルメット着用離脱率**
 - 〔 **二輪車の死亡重症事故**
 - 〔 その他 イベント等情報発信

1 二輪車の人身事故発生状況（警視庁）

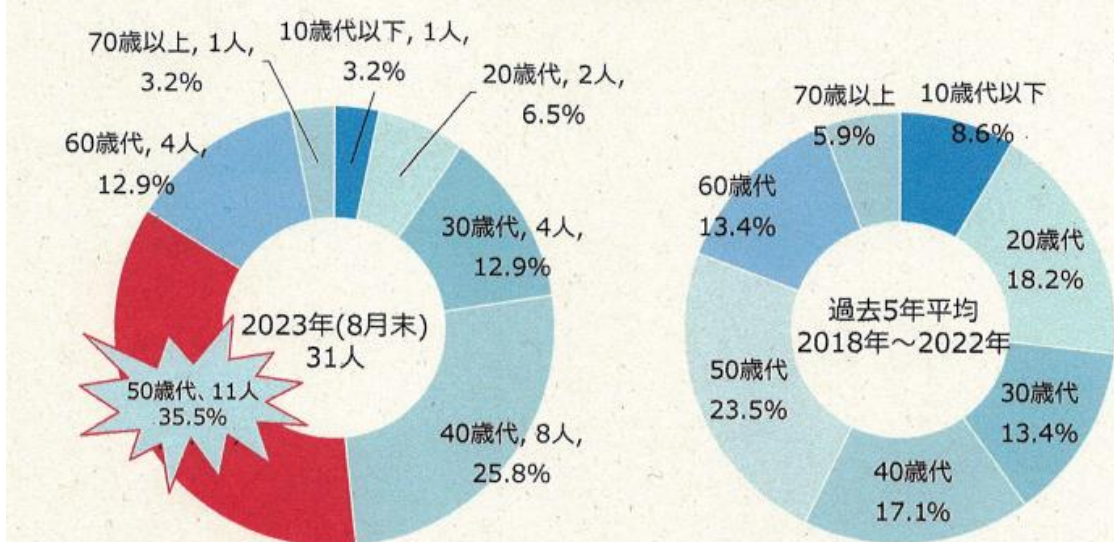
交通死亡事故構成率（2023年8月末）



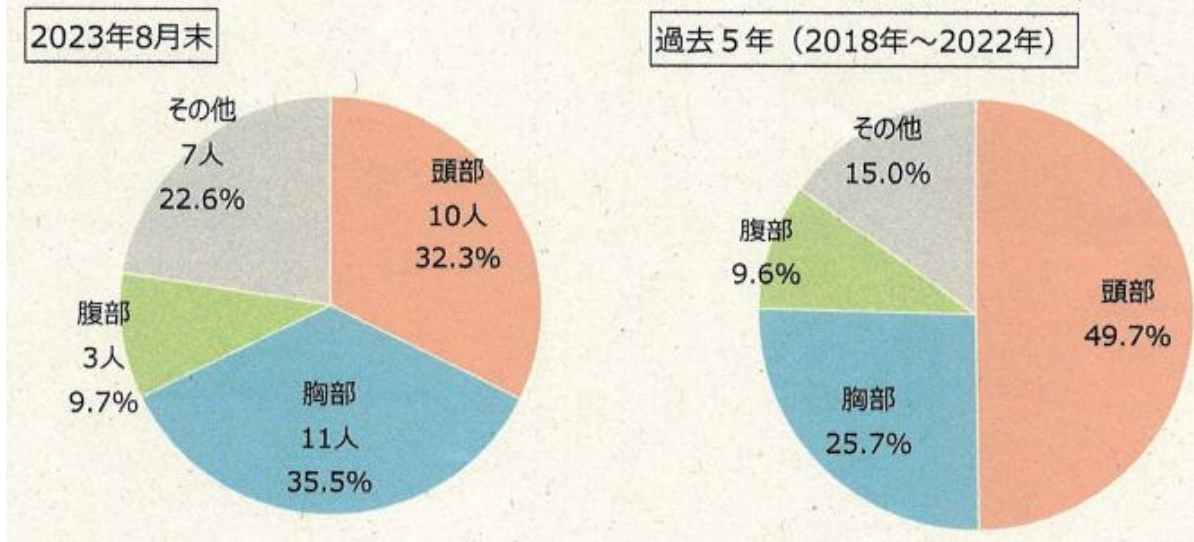
二輪車の死亡事故（事故類型別）



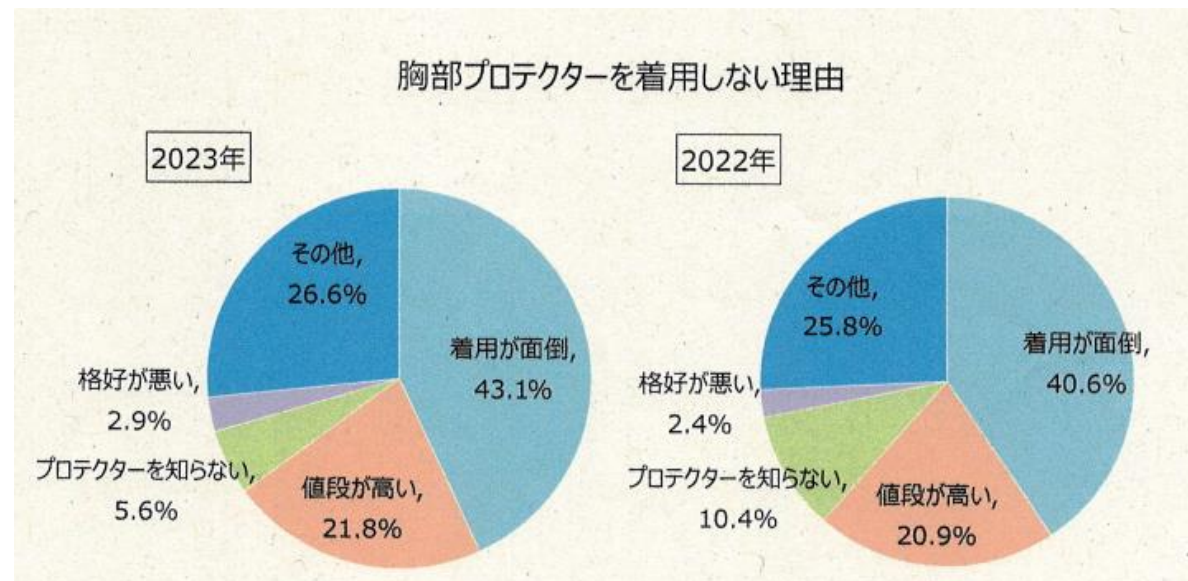
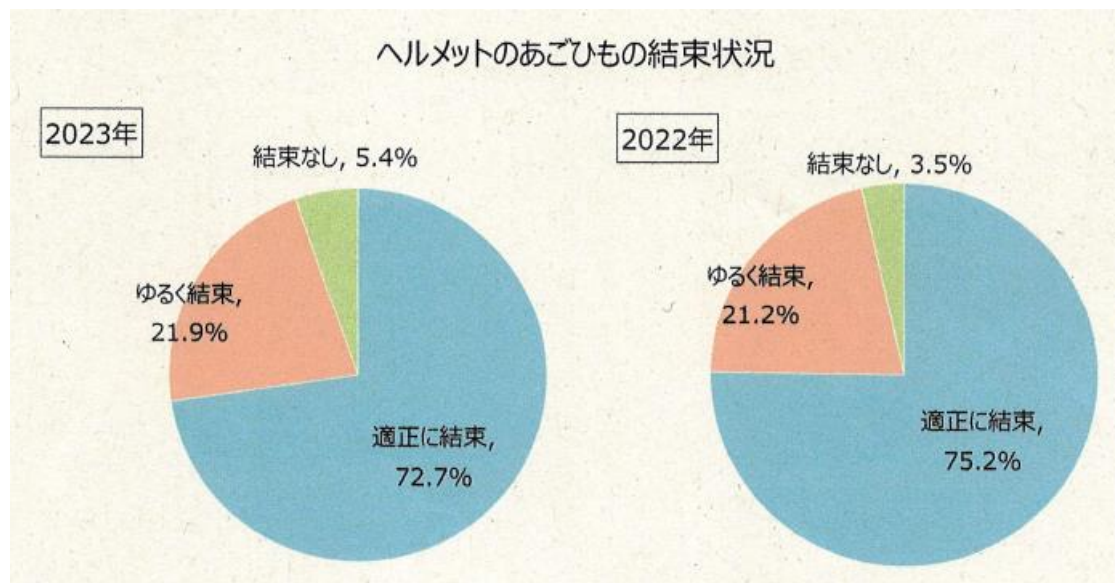
二輪車の死亡事故（年齢層別）



二輪車の死亡事故（損傷主部位別）

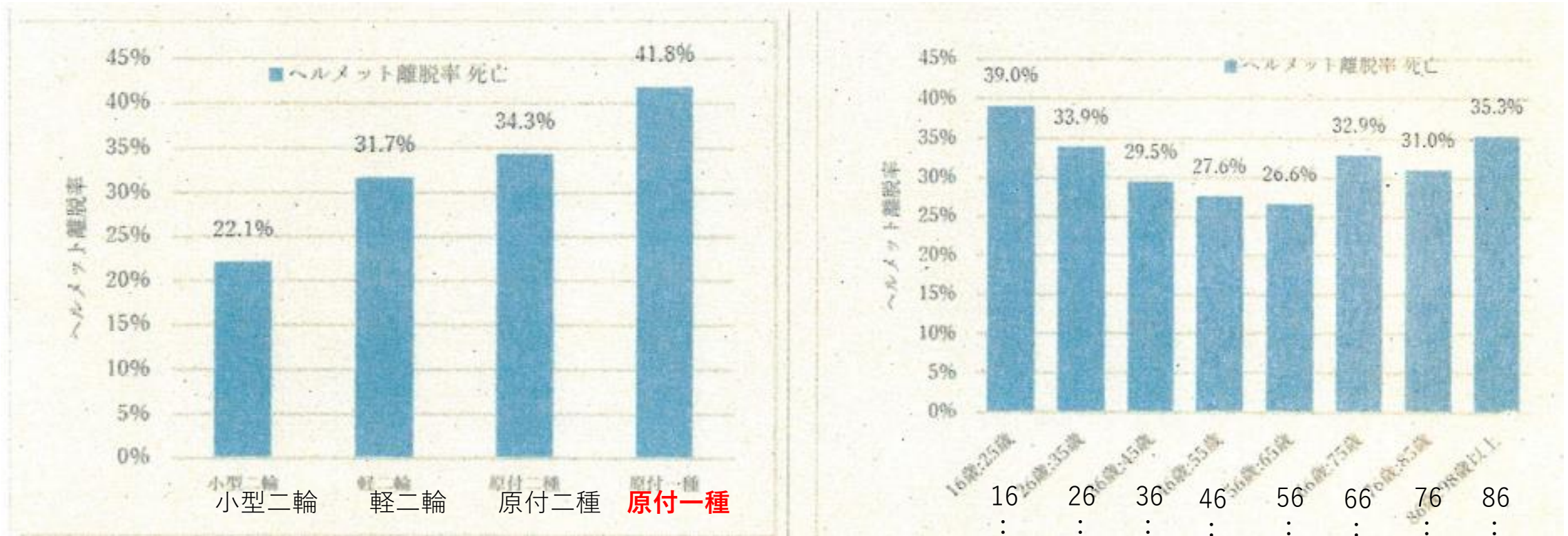


ヘルメット及び胸部プロテクターの着用状況調査（7月～8月 3000人対象に調査）



胸部プロテクター着用率は年々向上しているものの **9.3%** (2023)

2-1 ヘルメット離脱分析 (jama)

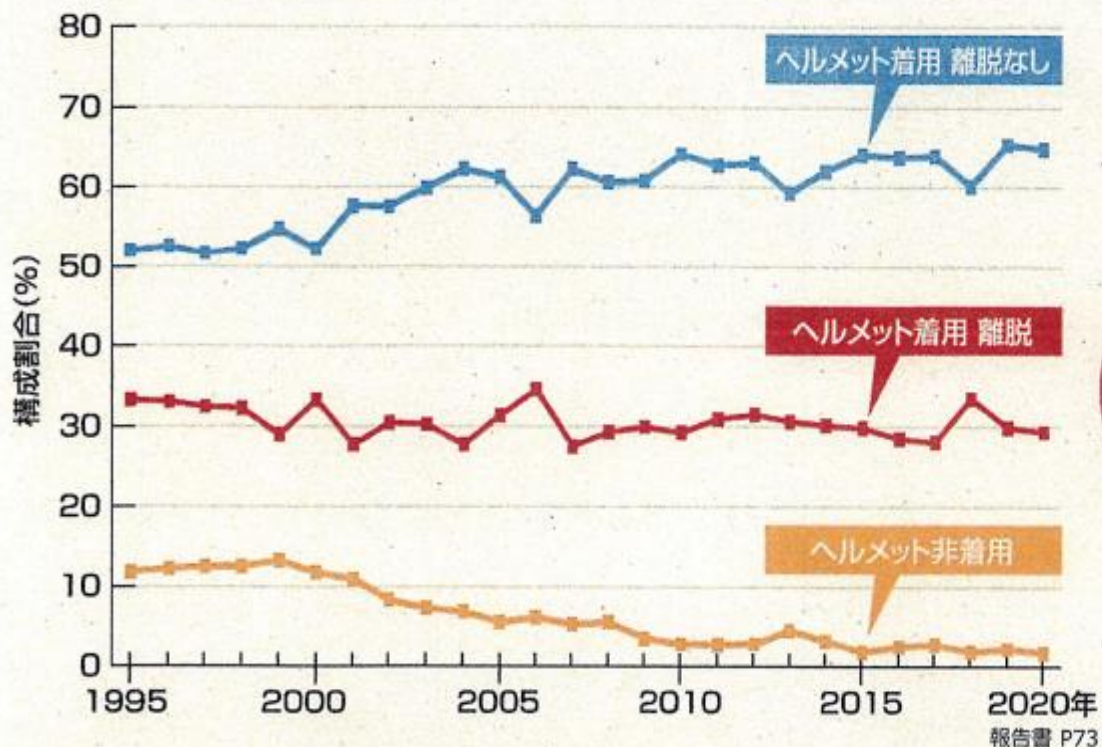


- ・排気量が小さなバイク程、離脱率が上昇
- ・年齢層別にみると若干若年層が高いが、全年齢で離脱している

16歳
: 25歳
26歳
: 35歳
36歳
: 45歳
46歳
: 55歳
56歳
: 65歳
66歳
: 75歳
76歳
: 85歳
86歳以上

ヘルメット着用離脱率

【二輪車全体の死者数のヘルメット着用構成割合推移(1995年~2020年)】



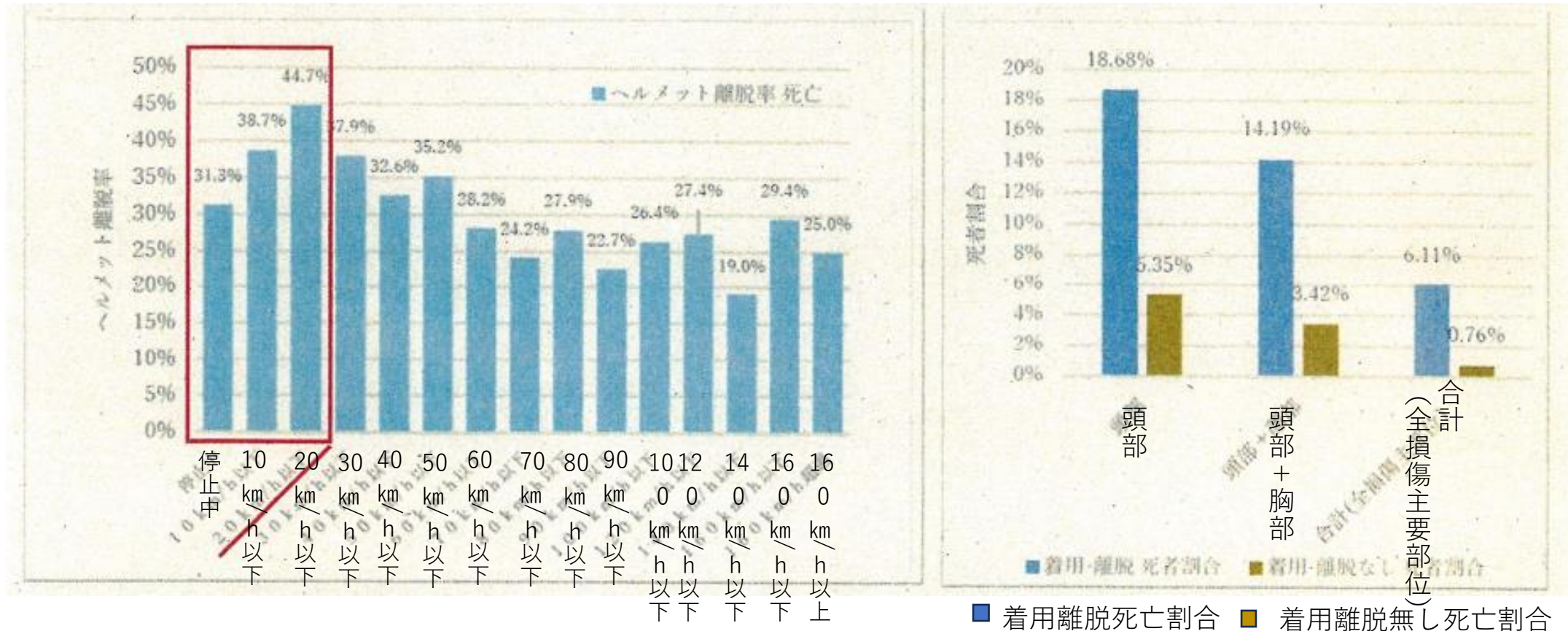
		自動二輪	原付	計
2021年	離脱	88人	44人	132人
	死者数	332名	131人	463人
	離脱率	26.5%	33.6%	28.5%
2022年	離脱	88人	27人	115人
	死者数	343人	92人	435人
	離脱率	25.7%	29.3%	26.4%

二輪車死亡事故のうち
ヘルメット離脱割合が
30%前後で推移

出典：ITARDA 二輪車事故の特徴分析による事故・死傷者数の低減研究 2022年3月発行

25年間、二輪車死亡事故の3割前後のヘルメット離脱が続く

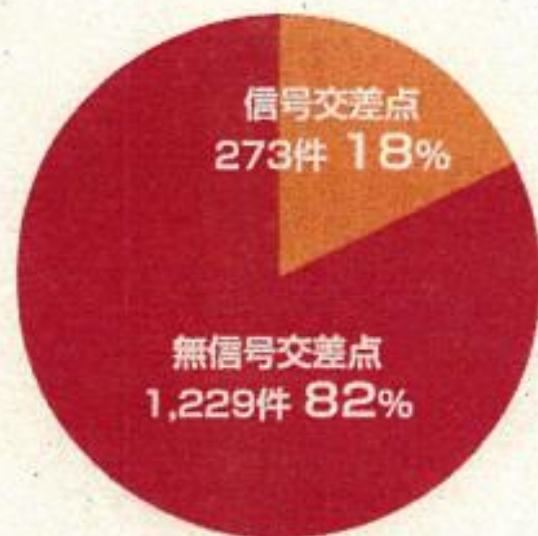
ヘルメット離脱分析



・危険認知速度が高いほど離脱率が高くなる訳ではなく、**低速域での離脱率が高い**
 ・頭部損傷で**ヘルメット離脱無しの死亡割合5.35%**に対し、**離脱時は18.68%**と5倍強と大幅に上昇する。頭部+顔部で見ても3.42%に対し14.19%と4倍強。ヘルメットが離脱しない対策が重要

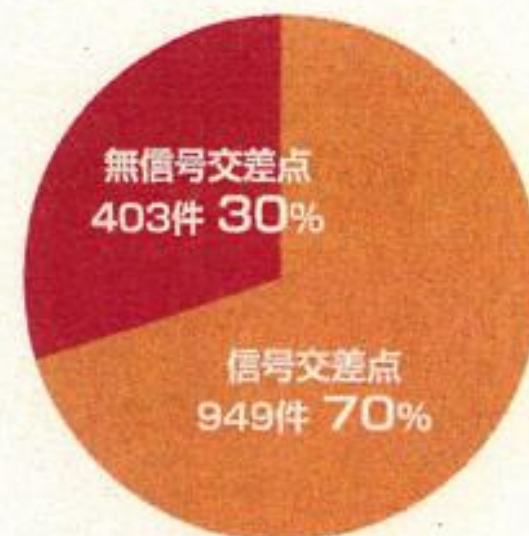
二輪車死亡重傷事故発生場所

【令和3年 出会い頭死亡重傷事故件数】



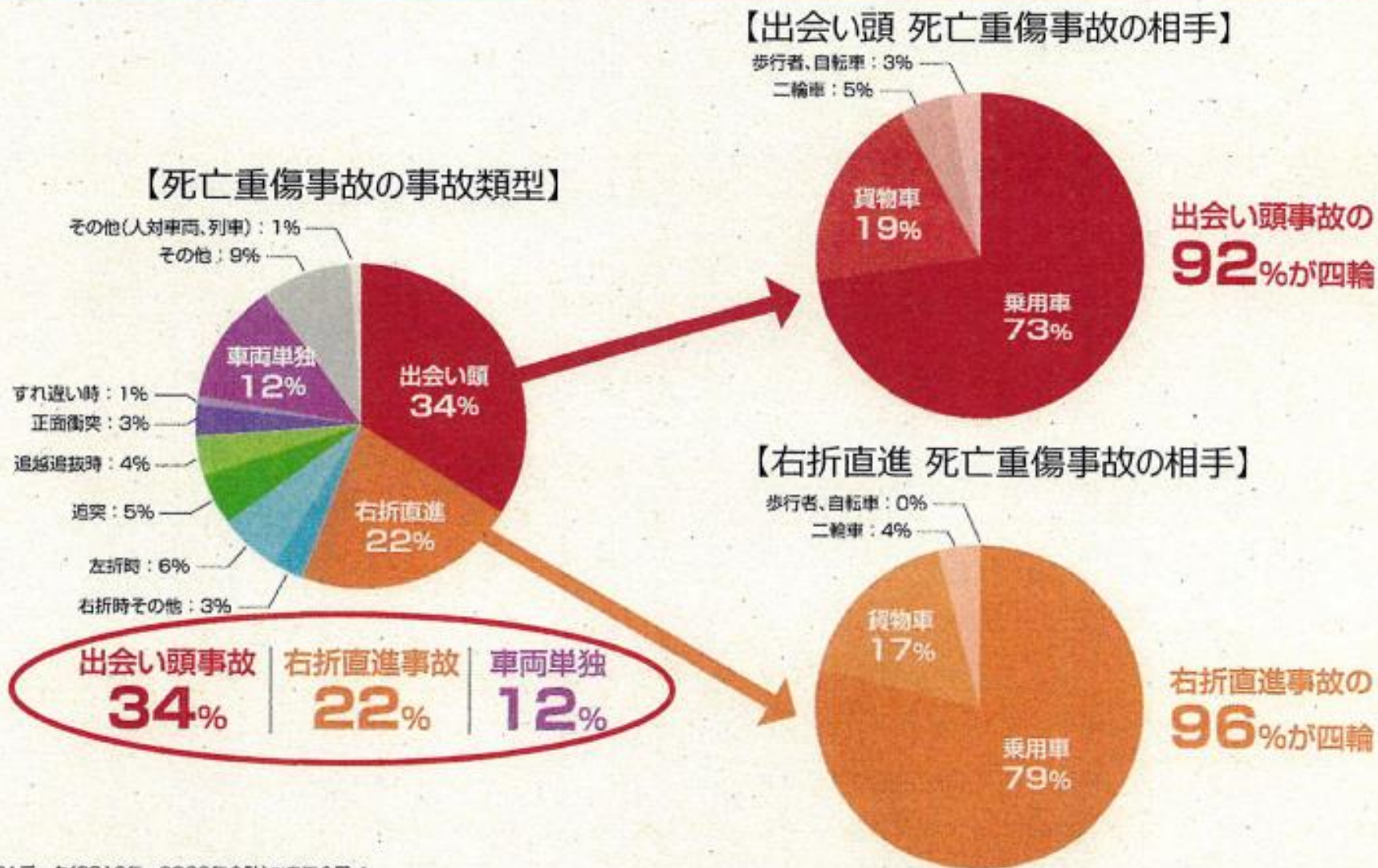
出会い頭事故の
82%が**無信号交差点**

【令和3年 右折直進死亡重傷事故件数】



右折直進事故の
70%が**信号交差点**

④



出典:ITARDAデータ(2016年~2020年合計)※自工会調べ

※ 出会い頭・右折直進事故の死亡重傷の相手は9割超が四輪車 12